交通安全情報

保存版
警視庁交通部

子供に関わる全ての皆さんへ

交通安全に100%はありません!!

交通安全対策

子供の目線に立ち危険箇所を把握し対策する

大人の目線では安全と感じても、子供の身長、視野でいつもの道を見てみると、今まで気づかなかった危険があるかもしれません。

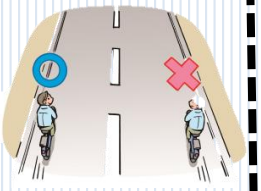
子供の立場に立って交通安全対策を行いましょう。

ルールの遵守

大人が自ら手本を示し、繰り返し教えていく

子供への教え方や、手本となる大人の行動が違うと子供は混乱します。

子供に関わる皆さんが交通安全対策について共通の認識を持って、行動しましょう。



危険予測・回避

たくさんの情報を取り入れて危険を予測し、危険を回避する

交通安全講習や警視庁ホームページ等から多くの情報を取り入れるほか、過去の交通事故事例を他山の石として「自分だったらどうしたか、どう教えるか」など考え、危険予測・回避力を高めましょう

できることを積み重ねていく

事故発生の可能性をゼロに近づけていきましょう！

すぐにできること

- 子供から目を離さず、飛び出しさせないように注意を払いましょう。
- 子供と通る道は、同じ時間、曜日で確認し、交通量や安全な歩道の確保ができているかなどを子供の目の高さで確認した上で決めましょう。
  ※ チャイルドビジョンの活用が効果的です。（東京都福祉保健局のホームページをご覧ください。）
- 歩道を歩くときは、車道からできるだけ離れた建物寄りを広がらないように歩きましょう。 ※ 建物出入口からの飛び出しには注意してください。
- 歩道がない場所を歩くときは、原則右側通行、路側帯が設置されている場所では、路側帯内を広がらないように歩きましょう。
- 交差点での信号待ちをする場合は、ガードレールなどの防護物がある場所を選び、その後ろで待つようにしましょう。
- 遠くても、道路を横断するときは横断歩道や歩道橋を渡りましょう。

TOKYO SAFETY ACTION

ももいろクローバーZと一緒に学ぶ

交通安全動画「LET'S TRY 交通安全」